

新座市立地適正化計画策定に関する アンケート調査結果報告書

令和6年10月

1 調査概要

1－1 実施の概要

市民アンケートの実施概要は以下のとおりです。

配布数	3,000 通
対象者	新座市在住の日本国籍の 18 歳以上の市民
抽出方法	無作為抽出
配布方法	郵送
回収方法	郵送での返送もしくは Web ページから回答
配布日程	令和 6 年 8 月 16 日（金）差出し 9 月 9 日（月）締切り

1－2 設問項目

設問の大項目は以下のとおりです。

1. ご自身（回答者属性）と住まいについて
2. 住まいの地域について（住みやすさ）
3. 日常の移動について
4. 施設について
5. コンパクトなまちづくりについて
6. 防災・減災について
7. 自由意見

1－3 回収結果等

回収結果は以下のとおりです。

- 回収数：1,187 通（うち Web317 回答）
- 回収率：39.6%（Web 回答割合：26.7%）

2 結果概要

市民アンケートの集計結果は以下のとおりです。

※図表内に示す比率は、小数点四捨五入の関係上、合計が 100.0 にならない場合があります。

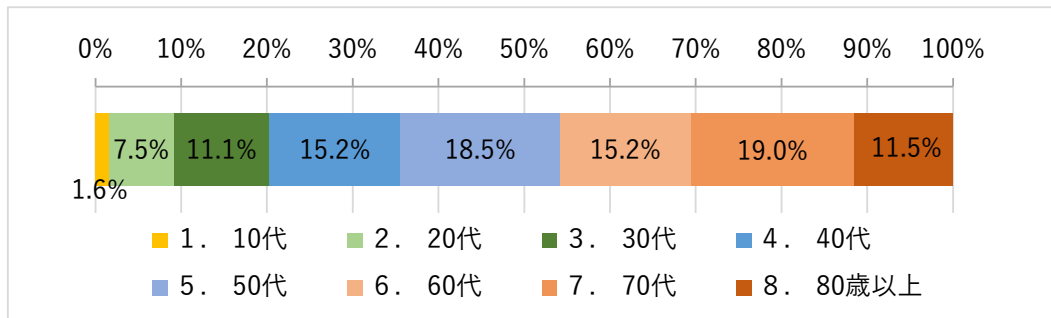
また、構成比については「無回答」を除いた割合で算出しています。

2-1 ご自身（回答者属性）と住まいについて

問1. 年齢をお答えください。（1つだけ○）

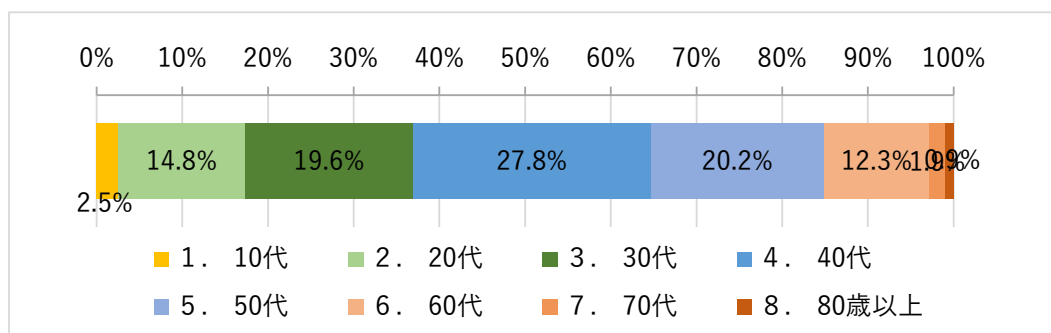
○年齢では、「70代」が最も多く 19.0%、続いて「50代」が 18.5%となっています。

選択肢	回答数	構成比
1. 10代	19	1.6%
2. 20代	89	7.5%
3. 30代	132	11.1%
4. 40代	181	15.2%
5. 50代	220	18.5%
6. 60代	180	15.2%
7. 70代	226	19.0%
8. 80歳以上	136	11.5%
無回答	4	0.3%
合計	1,187	100.0%



(参考) WEB回答

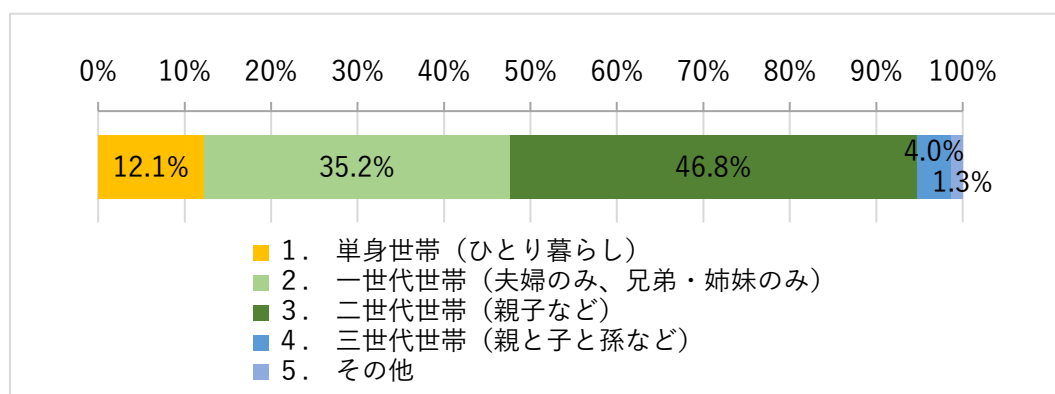
○WEB回答者 317 件での年齢構成では、30 代以下が 4 割弱 50 代以下が 8 割以上を占めています。



問2. 家族構成（同居している方）をお答えください。（1つだけ○）

○家族構成では「二世世代世帯（親子など）」が約47%で最も高く、次いで「一世世代世帯（夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ）」が約35%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が約12%の順となっています。

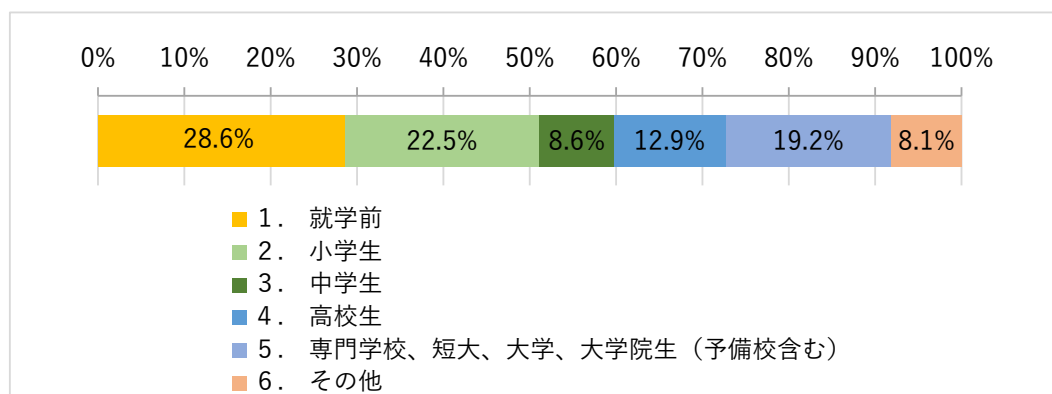
選択肢	回答数	構成比
1. 単身世帯（ひとり暮らし）	144	12.1%
2. 一世世代世帯（夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ）	418	35.2%
3. 二世世代世帯（親子など）	555	46.8%
4. 三世世代世帯（親と子と孫など）	48	4.0%
5. その他	15	1.3%
無回答	7	0.6%
合計	1,187	100.0%



問 3. 家族に就学中・就学前の方がおられる場合、その方の状況をお答えください。
(1つだけ○。複数おられる場合は最も年少の方についてお答えください)

○家族に就学中・就学前の方がおられる割合は全回答者のうち約 33%であり、「就学前」が約 29%で最も高く、「小学生」(22.5%) と合わせると小学生以下が過半を占めています。

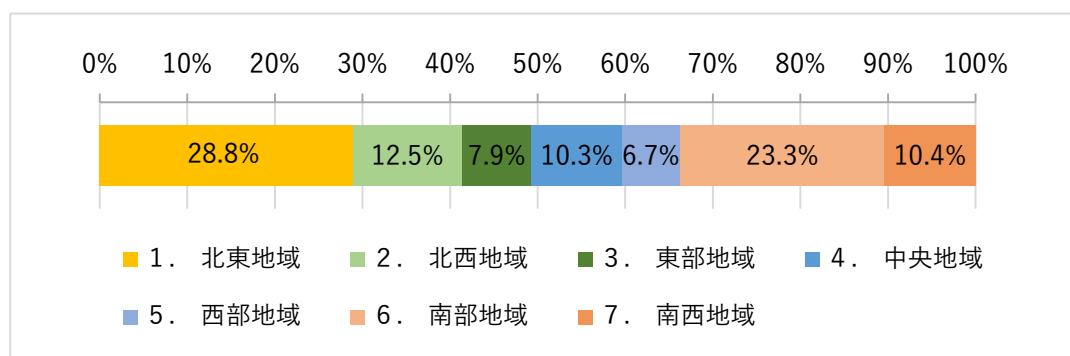
選択肢	回答数	構成比
1. 就学前	113	28.6%
2. 小学生	89	22.5%
3. 中学生	34	8.6%
4. 高校生	51	12.9%
5. 専門学校、短大、大学、大学院生（予備校含む）	76	19.2%
6. その他	32	8.1%
無回答	0	0.0%
合計	395	100.0%



問 4. 新座市のどの地域にお住まいですか。(1 つだけ○)

○お住まいの地域では、「北東地域（東北、北野、東、野火止五～八丁目、畑中三丁目）」「南部地域（堀ノ内、道場、片山、石神、野寺、栗原）」が 20% 台で高くなっています。

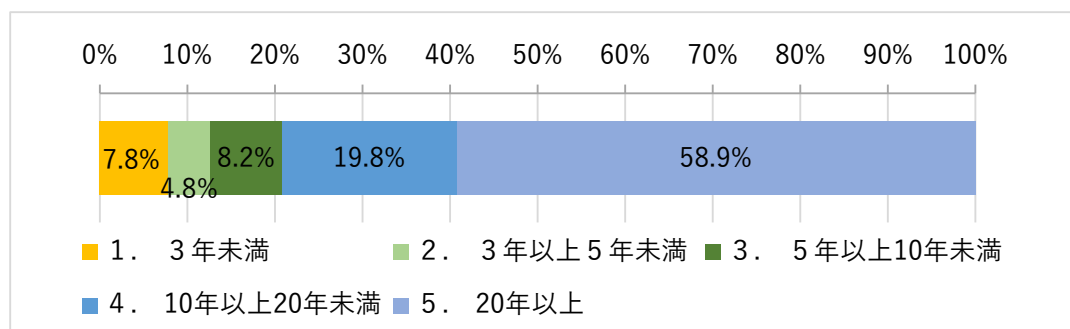
選択肢	回答数	構成比
1. 北東地域（東北、北野、東、野火止五～八丁目、畑中三丁目）	342	28.8%
2. 北西地域（新座、中野、大和田）	148	12.5%
3. 東部地域（新塚、栄、池田）	94	7.9%
4. 中央地域（畑中一・二丁目、馬場、野火止一・二丁目）	122	10.3%
5. 西部地域（野火止三・四丁目、菅沢、あたご）	79	6.7%
6. 南部地域（堀ノ内、道場、片山、石神、野寺、栗原）	276	23.3%
7. 南西地域（本多、西堀、新堀）	123	10.4%
無回答	3	0.3%
合計	1,187	100.0%



問 5. 新座市に住んでから何年になりますか。（1 つだけ○）

○居住年数については、「20 年以上」が約 59%と過半を超えており、「10 年以上 20 年未満」（19.8%）と合わせると約 8 割を占めています。

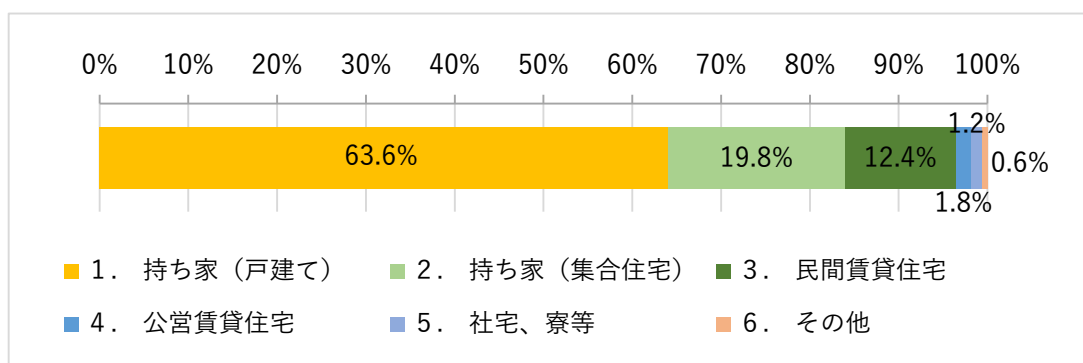
選択肢	回答数	構成比
1. 3 年未満	92	7.8%
2. 3 年以上 5 年未満	57	4.8%
3. 5 年以上10年未満	97	8.2%
4. 10年以上20年未満	235	19.8%
5. 20年以上	699	58.9%
無回答	7	0.6%
合計	1,187	100.0%



問 6. お住まいの形態を以下からお答えください。（1つだけ○）

○住まいの形態については、「持ち家（戸建て）」が約 64%で最も高く、「持ち家（集合住宅）」（19.8%）と合わせると約 73%となっています。県平均は約 66%であることから、持ち家率が高いことが伺えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 持ち家（戸建て）	755	63.6%
2. 持ち家（集合住宅）	235	19.8%
3. 民間賃貸住宅	147	12.4%
4. 公営賃貸住宅	21	1.8%
5. 社宅、寮等	14	1.2%
6. その他（ ）	7	0.6%
無回答	8	0.7%
合計	1,187	100.0%



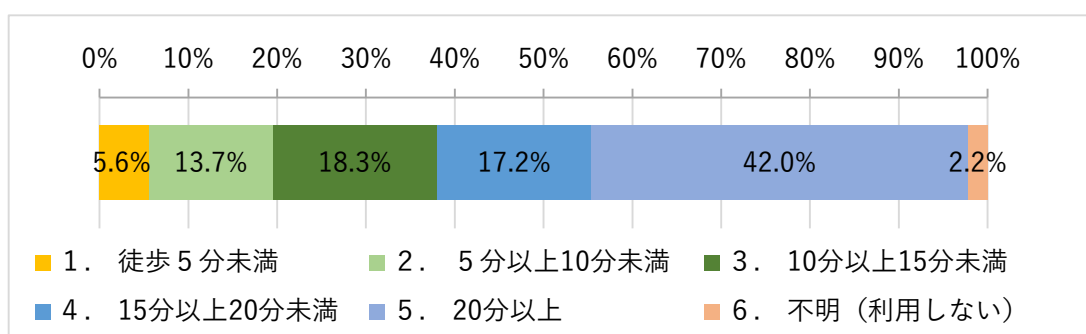
問 7. ご自宅から最寄りの駅やバス停までの距離は、徒歩で何分程度ですか。(それぞれ1つだけ○)

(1) 最寄りの鉄道駅までの距離

○自宅から最寄りの駅までの距離については、徒歩で「20 分以上」が約 42%と最も高く、次いで「10 分以上 15 分未満」が約 18%、「15 分以上 20 分未満」が約 17%の順となっています。

○徒歩で「10 分以上 15 分未満」「15 分以上 20 分未満」「20 分以上」を合わせると約 8 割を占めており、一般的に徒歩圏が 10 分とされていることを踏まえると、鉄道を利用する多くの方が徒歩圏外に住まわれていることが伺えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩 5 分未満	66	5.6%
2. 5 分以上10分未満	163	13.7%
3. 10分以上15分未満	217	18.3%
4. 15分以上20分未満	204	17.2%
5. 20分以上	498	42.0%
6. 不明（利用しない）	26	2.2%
無回答	13	1.1%
合計	1,187	100.0%

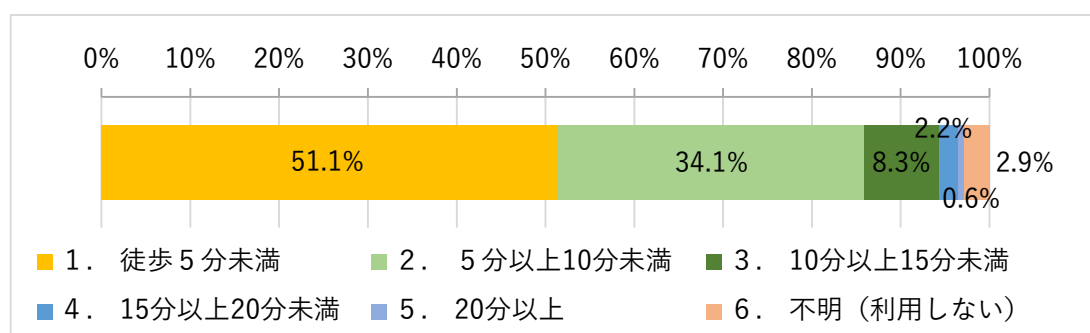


(2) 最寄りのバス停までの距離

○自宅から最寄りのバス停までの距離については、徒歩で「徒歩5分未満」が約51%と最も高く、次いで「5分以上10分未満」が約34%となっています。

○徒歩で「徒歩5分未満」「5分以上10分未満」を合わせると約85%を占めるため、ことから、本市のバス路線網は一定程度充実していることが伺えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩5分未満	606	51.1%
2. 5分以上10分未満	405	34.1%
3. 10分以上15分未満	99	8.3%
4. 15分以上20分未満	26	2.2%
5. 20分以上	7	0.6%
6. 不明（利用しない）	34	2.9%
無回答	10	0.8%
合計	1,187	100.0%



2-2 住まいの地域について（住みやすさ）

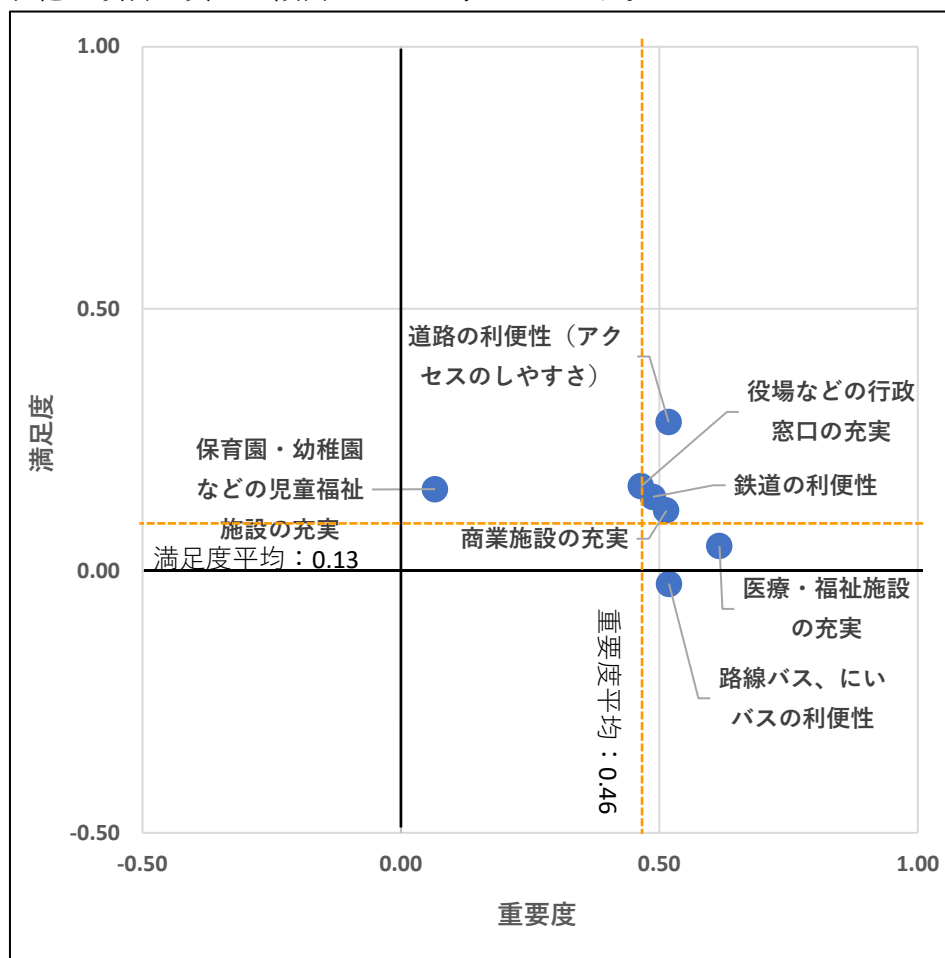
問 8. お住まいの地域の住みやすさについて、以下の項目ごとに満足度と重要度をお答えください。（*4段階評価）

4段階での評価となっている満足度・重要度については、以下のように点数の重みづけをして集計を行っています。

評価		点数
満足している	重要である	+ 2
ある程度満足している	ある程度重要である	+ 1
あまり満足していない	あまり重要ではない	- 1
満足していない	重要ではない	- 2

（1） 施設等の利便性

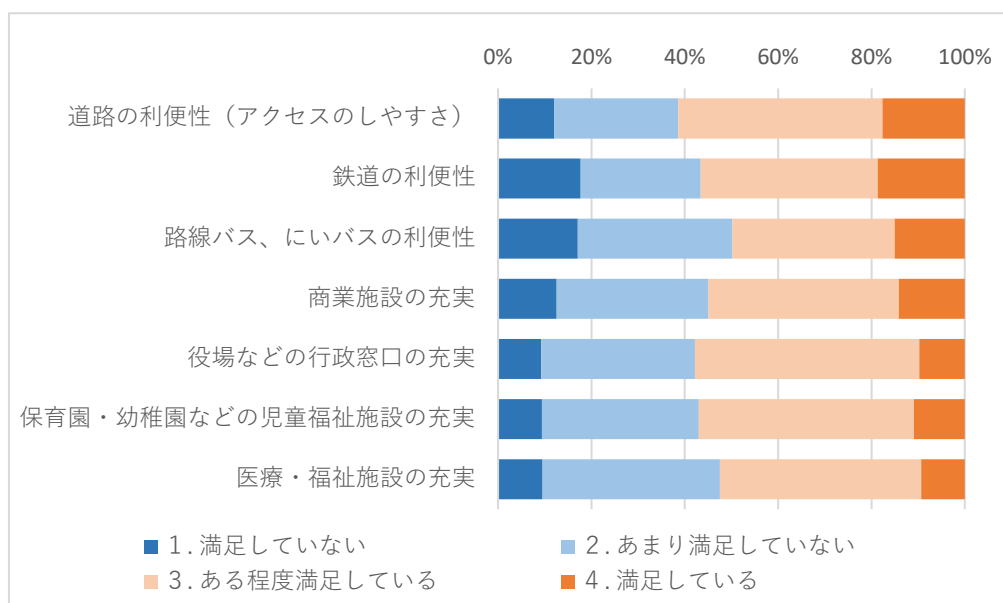
- 「路線バス、にいバスの利便性」について満足度が低く、重要度が高くなっており、「医療・福祉施設の充実」もそれに近い傾向となっており、優先的に取り組むべき問題と言えます。
- 「道路の利便性（アクセスのしやすさ）」は重要度・満足度共に高い結果となっています。
- 「保育園・幼稚園などの児童福祉施設の充実」については、利用対象となる方が限定的であるため、他の項目と異なる傾向にあると考えられます。



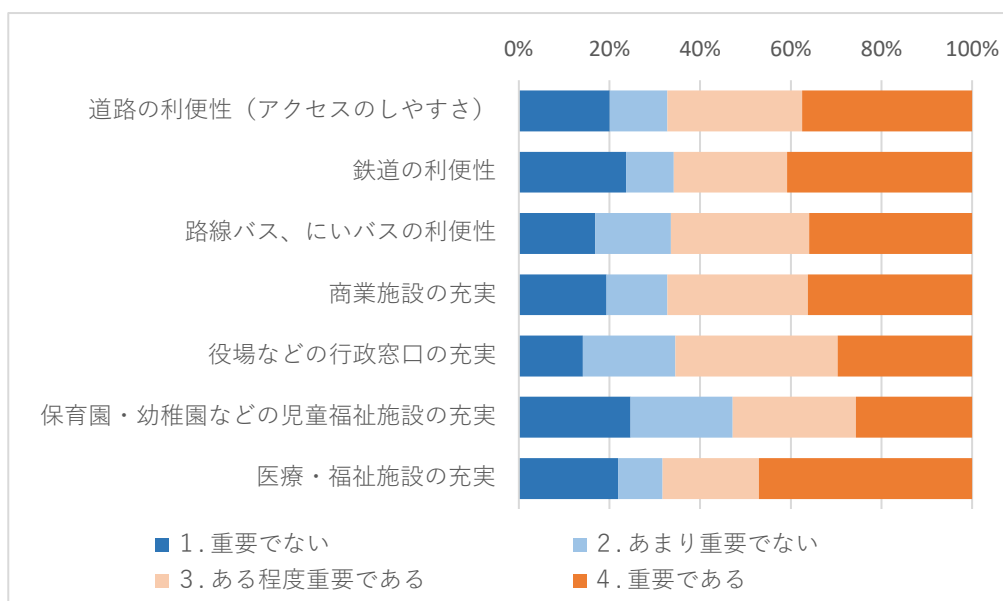
[各項目の集計結果]

- 満足度については、「道路の利便性（アクセスのしやすさ）」や「鉄道の利便性」で満足しているとの割合がやや高い傾向である一方、「鉄道の利便性」は満足していないとの評価もやや高くなっています。
- 「役場などの窓口の充実」や「医療・福祉施設の充実」で満足しているとの割合が少なくなっています。また、「路線バス、にいはの利便性」については満足していないとあまり満足していないを合わせると半数近くを占めています。
- 重要度については、「医療・福祉施設の充実」で重要であるとの割合が顕著に高く、次いで鉄道の利便性が4割を超えて高くなっています。

■満足度



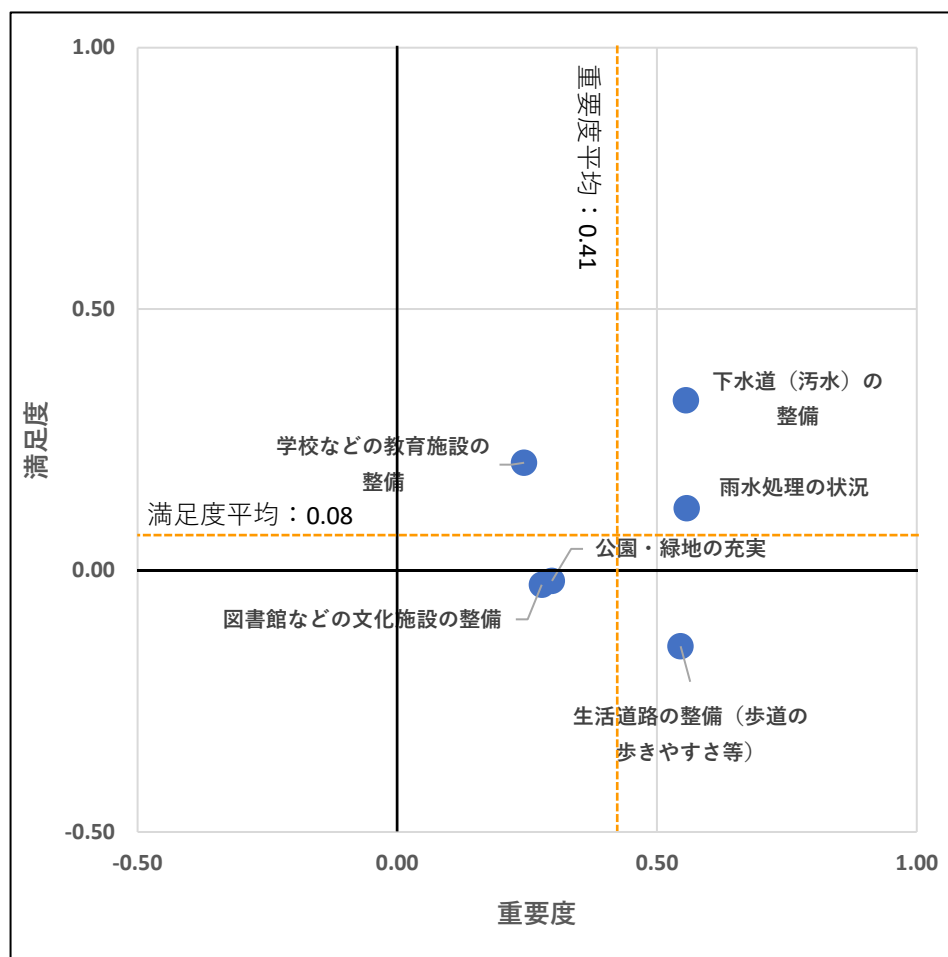
■重要度



(2) 都市基盤の整備状況

○満足度が低く重要度が高いものとしては、「生活道路の整備（歩道の歩きやすさ等）」がその傾向が強く、自由回答においても多く意見が挙げられていました。他に「公園・緑地の充実」や「図書館などの文化施設の整備」でも同様の傾向が見られます。

○「下水道（污水）の整備」については満足度・重要度とも高くなっています。

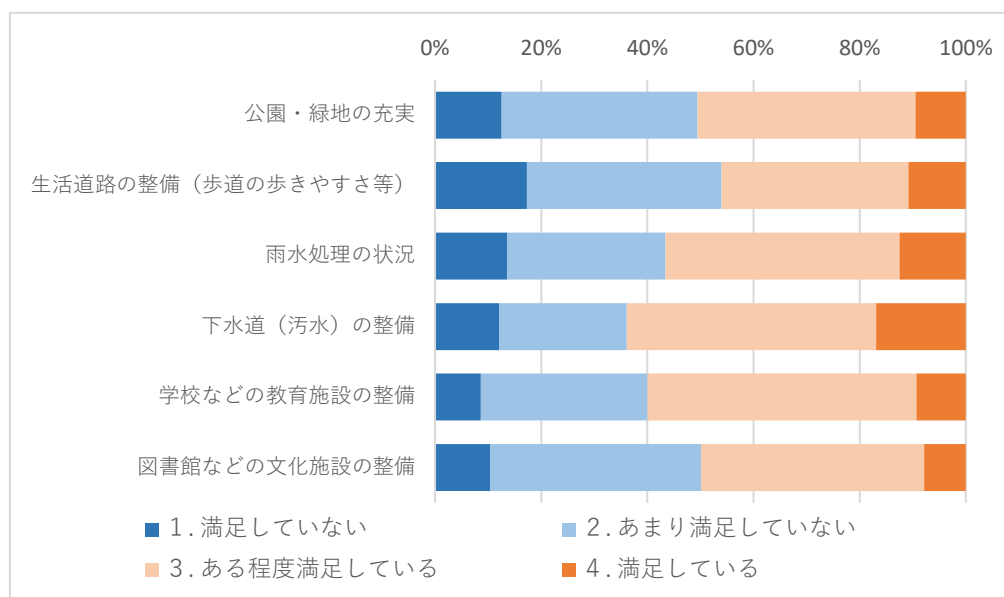


[各項目の集計結果]

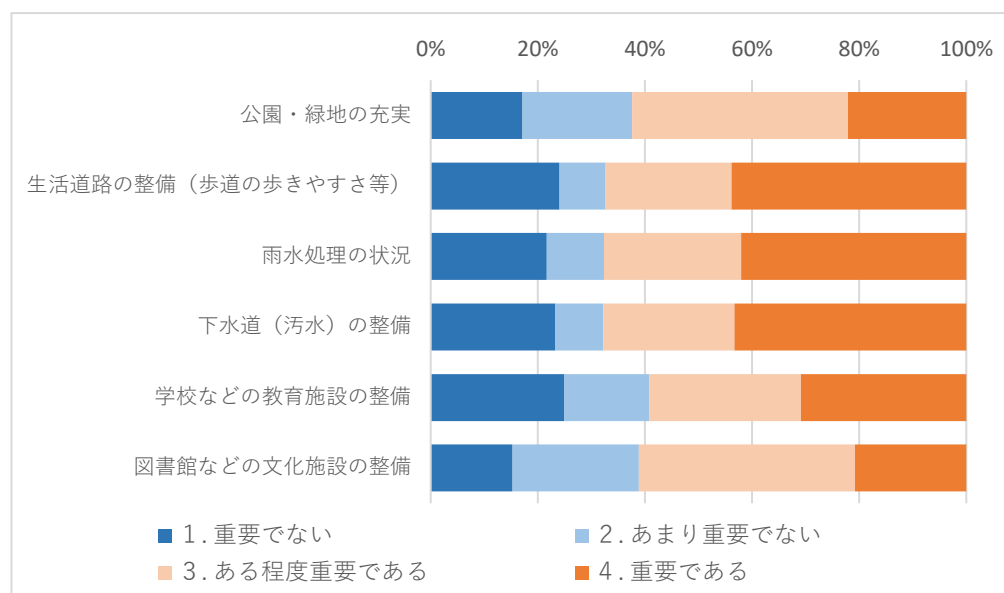
○満足度については、「生活道路の整備（歩道の歩きやすさ等）」について満足していないとの割合が最も高くなっており、あまり満足していないと合わせると半数以上を超えています。

○重要度については、「生活道路の整備（歩道の歩きやすさ等）」、「雨水処理の状況」、「下水道（污水）の整備」において重要であるとの割合が4割を超えて高くなっています。

■満足度

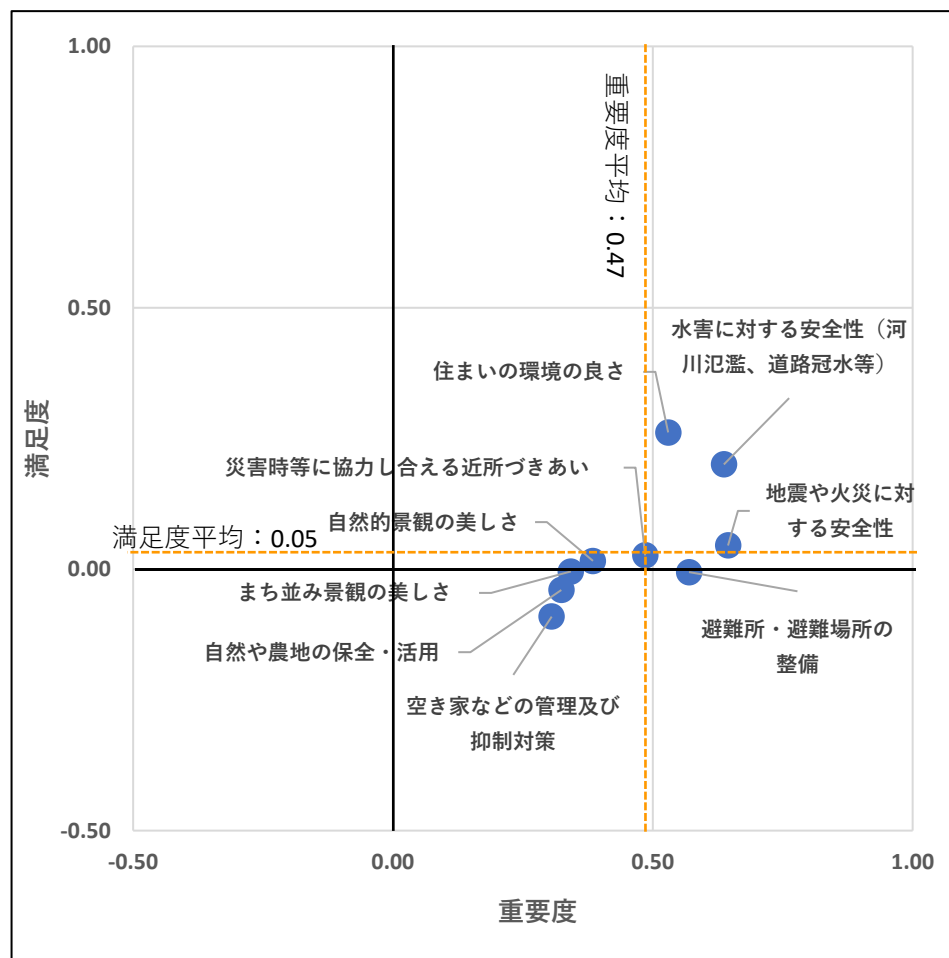


■重要度



(3) 安全性・快適性

- 満足度が低く重要度が高いものには、「空き家などの管理及び抑制対策」、「自然や農地の保全・活用」が挙げられています。
- 「住まいの環境の良さ」や「水害に対する安全性（河川氾濫、道路冠水等）」については、比較的満足度が高い一方で重要度も高い傾向にあり、近年の全国的な豪雨災害の頻発化等を受け、市民の関心が高いことが伺えます。



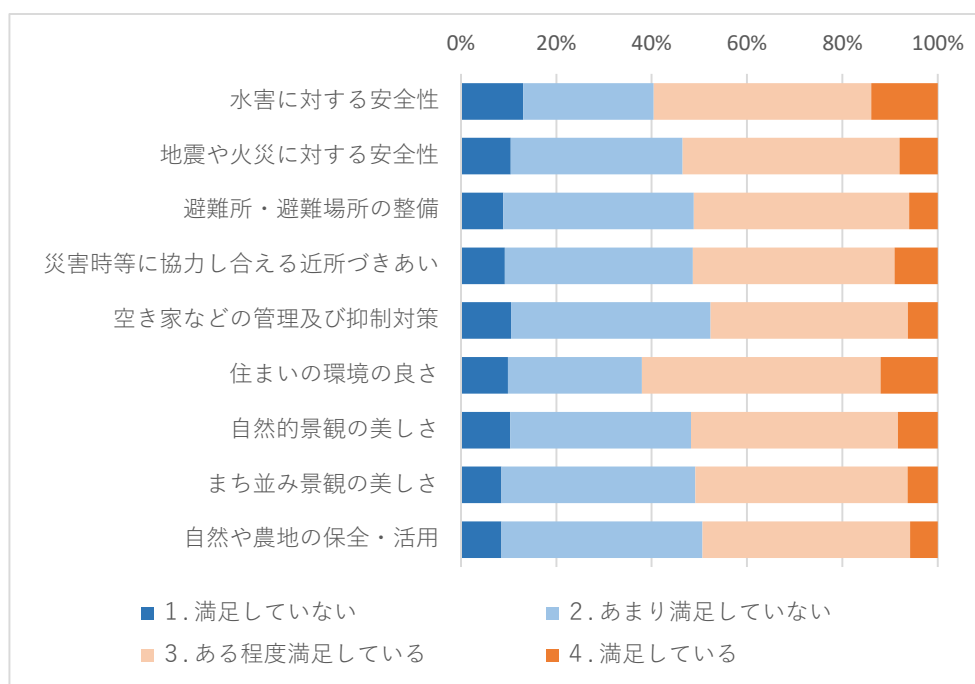
[各項目の集計結果]

○安全性・快適性については、全体的に重要度が高い傾向にあります。

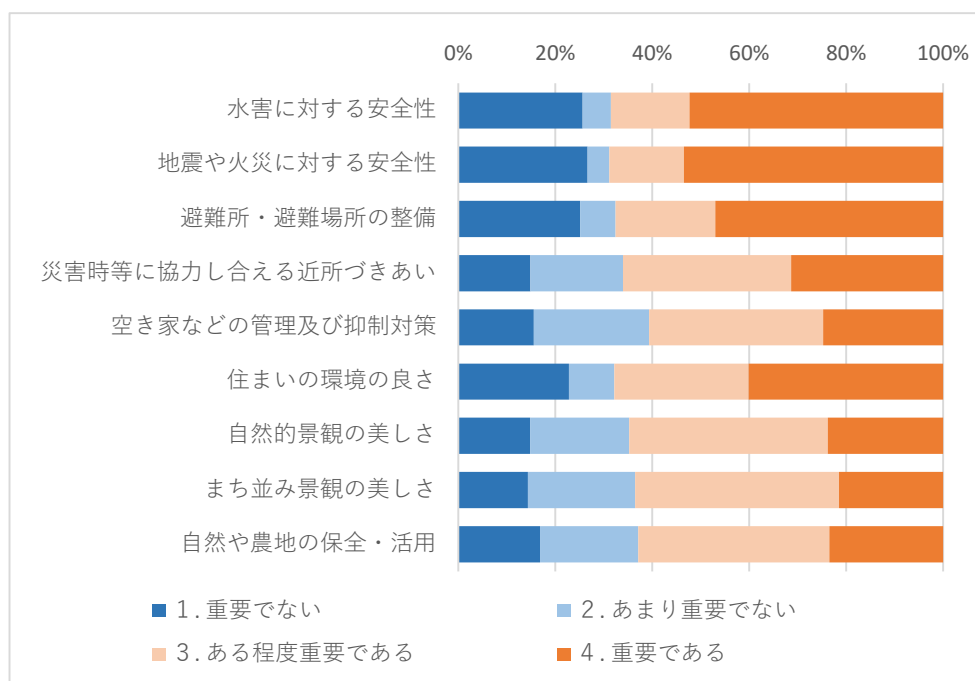
○重要度については、「水害に対する安全性」、「地震や火災に対する安全性」、「避難所・避難場所の整備」において重要であるとの割合が半数近くを占めていました。

○一方、上記3項目は「重要でない」との意見も比較的高くなっていますが、この傾向は、本市における自然災害による被害が、これまでのところ局所的なものにとどまっていることなどが要因として考えられます。

■満足度



■重要度



2－3 日常の移動について

問 9. 以下の7種類の外出の目的別に、ふだん最も多く訪れる施設を想定し、訪れる頻度と場所、主な移動手段、施設の種類をお答えください。（1つだけ○。該当がない目的は無記入としてください）

○頻度の高い「保育園・幼稚園・こども園等の送迎」「食料品・日用品の買い物」は「自宅周辺」の割合が高く、頻度の少ない外出目的は、「市外」の割合が高い傾向にあります。

○移動手段については、いずれの目的でも「徒歩・自転車」が4割～5割を占めており、次いで「自家用車・バイク」の割合が高く、「路線バス」「にいはバス」の割合が低い傾向にあります。

目的別の外出については以下のような結果となっています。

① 通勤・通学

- ・頻度：「週に3回以上」の割合が高く、日常的に外出する目的となっています。
- ・場所：「市外」が半数を占めており流出人口が多い状況が伺えます。
- ・移動手段：「徒歩・自転車」が最も高く、次いで「自家用車・バイク」「路線バス」となっています。

② 保育園・幼稚園・こども園等の送迎

- ・頻度：「週に3回以上」の割合が高く、約6割を占めています。
- ・場所：「自宅周辺」が約半数を占めているほか、市外も約7.5%となっています。
- ・移動手段：「徒歩・自転車」が半数以上を占めていることから、身近な施設の利用が多い状況が伺えます。

③ 食料品・日用品の買い物

- ・頻度：「週に3回以上」が半数以上を占め、週に1回以上では約95%にのびります。
- ・場所：「自宅周辺」が約6割を占めていることから、身近な食料品・生活用品等の店舗の利用が多い状況が伺えます。
- ・移動手段：身近な店舗の利用が多い傾向から、移動手段も「徒歩・自転車」が半数以上を占めています。
- ・施設：食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）が約9割を占めており、それ以外はごくわずかとなっています。

④ 食料品・日用品以外の買い物

- ・頻度：「月に 1、2 回」の割合が高く、頻度は少ないものの定期的に外出する目的となっています。
- ・場所：「市外」が約 4 割で最も多くを占め、次いで「自宅周辺」が約 2 割となっています。
- ・移動手段：買い物の場所を反映して「自家用車・バイク」が半数以上を占めていますが、「徒歩・自転車」も約 26%を占めており、自宅からアクセスしやすい方も少なくない状況です。
- ・施設：「大型ショッピングセンター、百貨店」の利用が 6 割を超えて最も多く、次いで「家電・家具・趣味品等専門店」が約 2 割となっています。

⑤ 銀行・役所等での所用

- ・頻度：「月に 1、2 回」の割合が約 5 割、「月に 1、2 回」が約 4 割を占めています。
- ・場所：「自宅周辺」が約 27%と最も多いものの、各駅周辺の割合も他の目的と比較すると高い傾向であり、特に志木駅周辺は約 20%とを占めています。
- ・移動手段：「徒歩・自転車」が半数以上を占め、次いで「自家用車・バイク」が約 3 割となっています。
- ・施設：「銀行、信用金庫」を利用している割合が約 65%と、最も高い状況です。

⑥ 医療施設や福祉施設への通院・通所

- ・頻度：「月に 1 回未満」が半数を占め、次いで「月に 1、2 回」が 4 割程度と利用頻度は低い結果となりました。
- ・場所：「自宅周辺」が最も高く、次いで「市外」となっています。
- ・施設：「医院、診療所、クリニック等」が半数以上を占め、次いで「病院」となっており、「介護福祉施設」「障がい者福祉施設」は利用者が限定されることもあり、1%未満となっています。

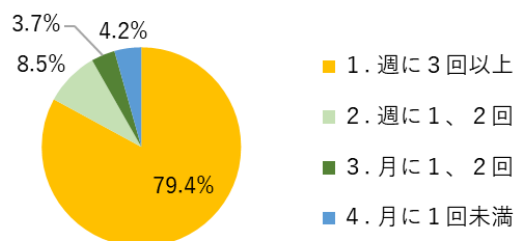
⑦ 趣味、娯楽、スポーツ、文化活動、地域活動等

- ・頻度：「月に 1 回未満」が最も高い割合となっていますが、「週に 1、2 回」「月に 1、2 回」の割合も高く、定期的に外出する人も多くいます。
- ・場所：「市外」が最も高く約 4 割を占め、次いで「自宅周辺」が約 25%となっています。
- ・移動手段：「徒歩・自転車」「自家用車・バイク」の割合が高く、それぞれ 4 割弱を占めています。

(1) 通勤・通学

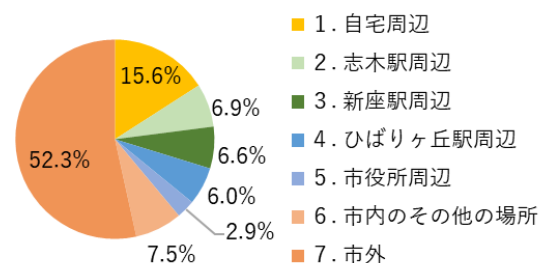
【頻度】

選択肢	回答数	構成比
1. 週に3回以上	646	79.4%
2. 週に1、2回	69	8.5%
3. 月に1、2回	30	3.7%
4. 月に1回未満	34	4.2%
無回答	35	4.3%
合計	814	100.0%



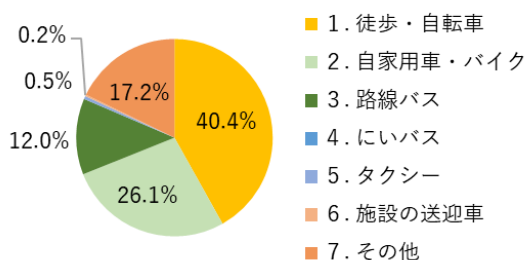
【場所】

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺	127	15.6%
2. 志木駅周辺	56	6.9%
3. 新座駅周辺	54	6.6%
4. ひばりヶ丘駅周辺	49	6.0%
5. 市役所周辺	24	2.9%
6. 市内のその他の場所	61	7.5%
7. 市外	426	52.3%
無回答	17	2.1%
合計	814	100.0%



【移動手段】

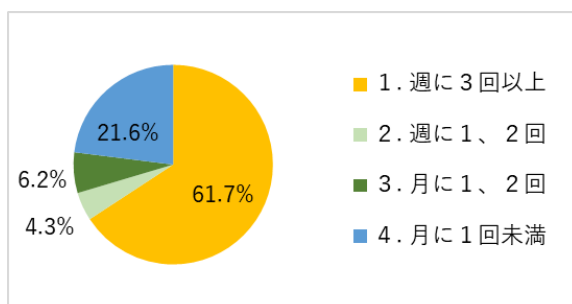
選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩・自転車	329	40.4%
2. 自家用車・バイク	213	26.1%
3. 路線バス	98	12.0%
4. にいバス	0	0.0%
5. タクシー	4	0.5%
6. 施設の送迎車	2	0.2%
7. その他	140	17.2%
無回答	29	3.6%
合計	815	100.0%



(2) 保育園・幼稚園・こども園等の送迎

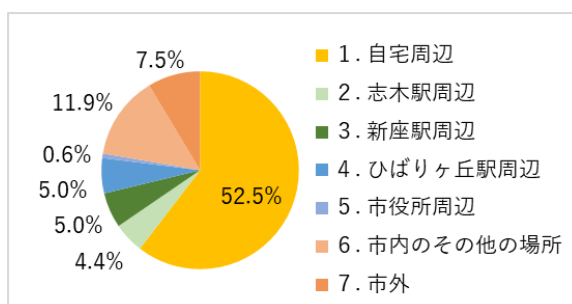
【頻度】

選択肢	回答数	構成比
1. 週に3回以上	100	61.7%
2. 週に1、2回	7	4.3%
3. 月に1、2回	10	6.2%
4. 月に1回未満	35	21.6%
無回答	10	6.2%
合計	162	100.0%



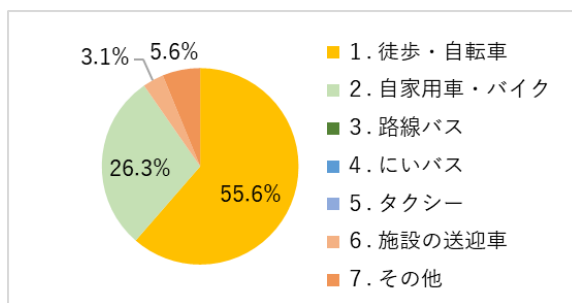
【場所】

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺	84	52.5%
2. 志木駅周辺	7	4.4%
3. 新座駅周辺	8	5.0%
4. ひばりヶ丘駅周辺	8	5.0%
5. 市役所周辺	1	0.6%
6. 市内のその他の場所	19	11.9%
7. 市外	12	7.5%
無回答	21	13.1%
合計	160	100.0%



【移動手段】

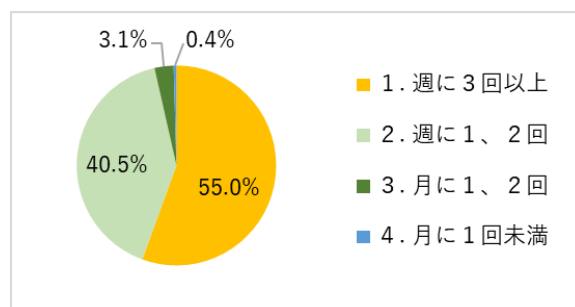
選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩・自転車	89	55.6%
2. 自家用車・バイク	42	26.3%
3. 路線バス	0	0.0%
4. にいバス	0	0.0%
5. タクシー	0	0.0%
6. 施設の送迎車	5	3.1%
7. その他	9	5.6%
無回答	15	9.4%
合計	160	100.0%



(3) 食料品・日用品の買い物

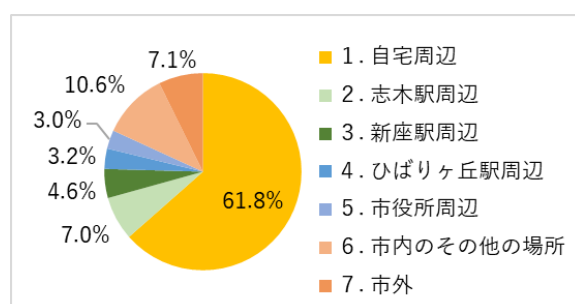
【頻度】

選択肢	回答数	構成比
1. 週に3回以上	629	55.0%
2. 週に1、2回	463	40.5%
3. 月に1、2回	35	3.1%
4. 月に1回未満	5	0.4%
無回答	11	1.0%
合計	1,143	100.0%



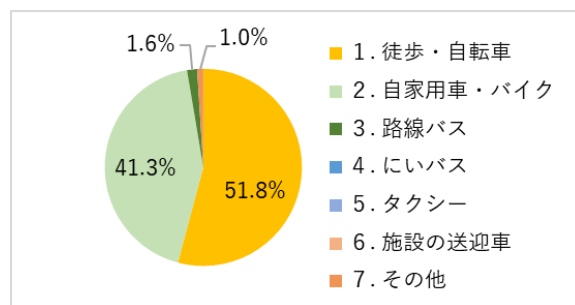
【場所】

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺	706	61.8%
2. 志木駅周辺	80	7.0%
3. 新座駅周辺	53	4.6%
4. ひばりヶ丘駅周辺	37	3.2%
5. 市役所周辺	34	3.0%
6. 市内のその他の場所	121	10.6%
7. 市外	81	7.1%
無回答	31	2.7%
合計	1,143	100.0%



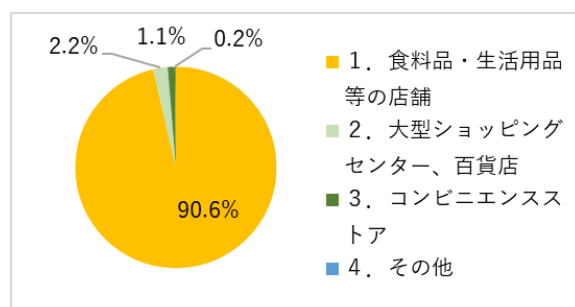
【移動手段】

選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩・自転車	592	51.8%
2. 自家用車・バイク	472	41.3%
3. 路線バス	18	1.6%
4. にいバス	0	0.0%
5. タクシー	0	0.0%
6. 施設の送迎車	0	0.0%
7. その他	11	1.0%
無回答	50	4.4%
合計	1,143	100.0%



【施設】

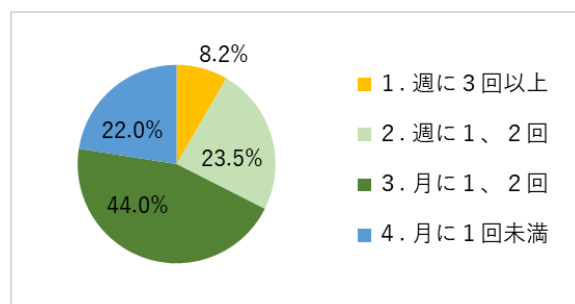
選択肢	回答数	構成比
1. 食料品・生活用品等の店舗	1,035	90.6%
2. 大型ショッピングセンター、百貨店	25	2.2%
3. コンビニエンスストア	12	1.1%
4. その他	2	0.2%
無回答	68	6.0%
合計	1,142	100.0%



(4) 食料品・日用品以外の買い物

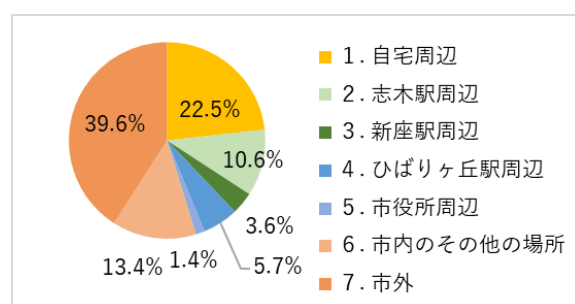
【頻度】

選択肢	回答数	構成比
1. 週に3回以上	92	8.2%
2. 週に1、2回	264	23.5%
3. 月に1、2回	494	44.0%
4. 月に1回未満	247	22.0%
無回答	26	2.3%
合計	1,123	100.0%



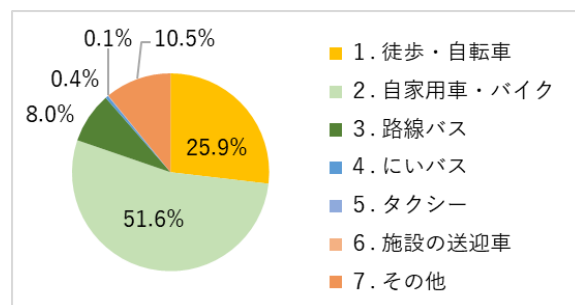
【場所】

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺	252	22.5%
2. 志木駅周辺	119	10.6%
3. 新座駅周辺	40	3.6%
4. ひばりヶ丘駅周辺	64	5.7%
5. 市役所周辺	16	1.4%
6. 市内のその他の場所	150	13.4%
7. 市外	444	39.6%
無回答	35	3.1%
合計	1,120	100.0%



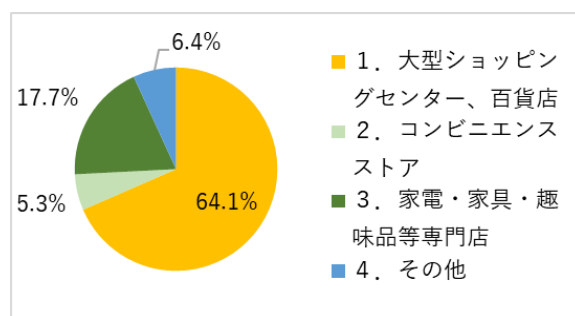
【移動手段】

選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩・自転車	291	25.9%
2. 自家用車・バイク	579	51.6%
3. 路線バス	90	8.0%
4. にいバス	5	0.4%
5. タクシー	1	0.1%
6. 施設の送迎車	0	0.0%
7. その他	118	10.5%
無回答	38	3.4%
合計	1,122	100.0%



【施設】

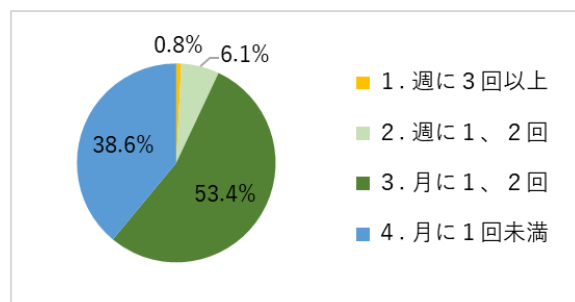
選択肢	回答数	構成比
1. 大型ショッピングセンター、百貨店	719	64.1%
2. コンビニエンスストア	60	5.3%
3. 家電・家具・趣味品等専門店	199	17.7%
4. その他	72	6.4%
無回答	72	6.4%
合計	1,122	100.0%



(5) 銀行、役所等での所用

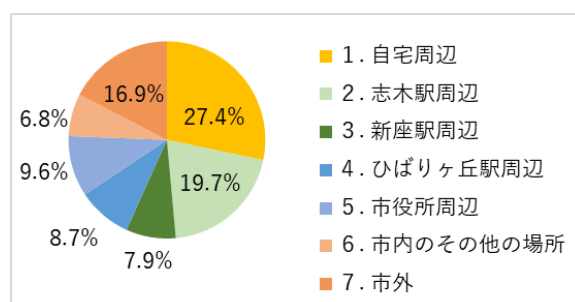
【頻度】

選択肢	回答数	構成比
1. 週に3回以上	9	0.8%
2. 週に1、2回	68	6.1%
3. 月に1、2回	593	53.4%
4. 月に1回未満	428	38.6%
無回答	12	1.1%
合計	1,110	100.0%



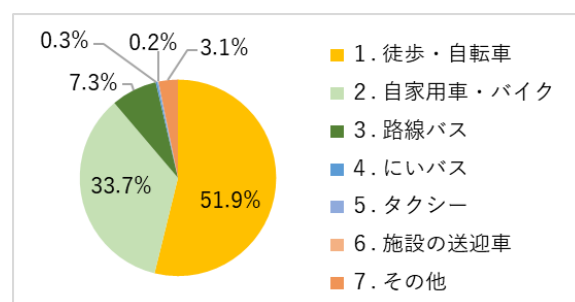
【場所】

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺	304	27.4%
2. 志木駅周辺	218	19.7%
3. 新座駅周辺	88	7.9%
4. ひばりヶ丘駅周辺	96	8.7%
5. 市役所周辺	107	9.6%
6. 市内のその他の場所	75	6.8%
7. 市外	187	16.9%
無回答	34	3.1%
合計	1,109	100.0%



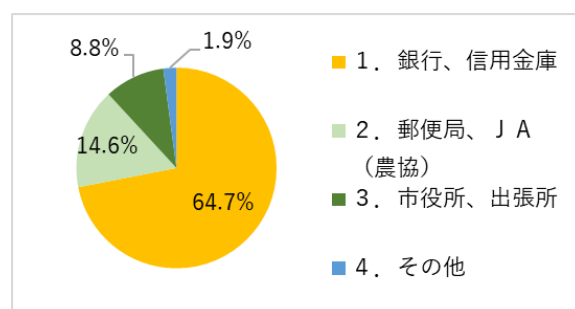
【移動手段】

選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩・自転車	576	51.9%
2. 自家用車・バイク	374	33.7%
3. 路線バス	81	7.3%
4. にいバス	3	0.3%
5. タクシー	2	0.2%
6. 施設の送迎車	0	0.0%
7. その他	34	3.1%
無回答	40	3.6%
合計	1,110	100.0%



【施設】

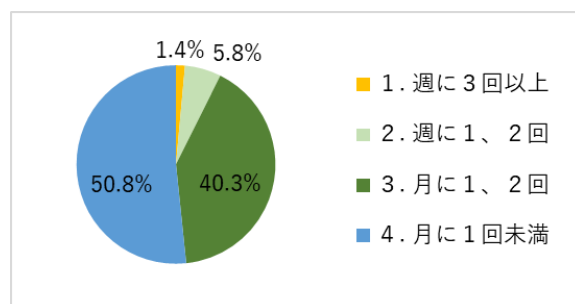
選択肢	回答数	構成比
1. 銀行、信用金庫	715	64.7%
2. 郵便局、J A（農協）	161	14.6%
3. 市役所、出張所	97	8.8%
4. その他	21	1.9%
無回答	111	10.0%
合計	1,105	100.0%



(6) 医療施設や福祉施設への通院・通所

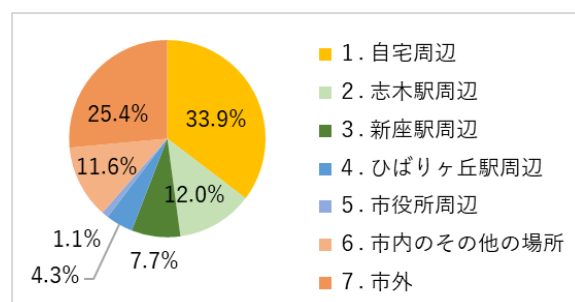
【頻度】

選択肢	回答数	構成比
1. 週に3回以上	15	1.4%
2. 週に1、2回	61	5.8%
3. 月に1、2回	423	40.3%
4. 月に1回未満	533	50.8%
無回答	17	1.6%
合計	1,049	100.0%



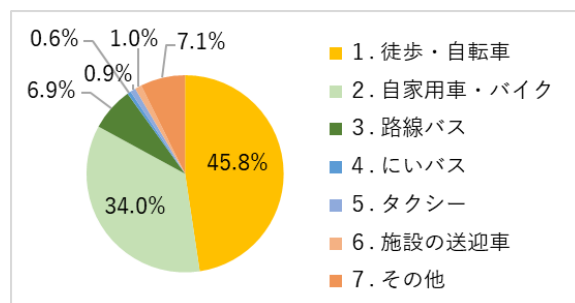
【場所】

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺	355	33.9%
2. 志木駅周辺	126	12.0%
3. 新座駅周辺	81	7.7%
4. ひばりヶ丘駅周辺	45	4.3%
5. 市役所周辺	11	1.1%
6. 市内のその他の場所	121	11.6%
7. 市外	266	25.4%
無回答	42	4.0%
合計	1,047	100.0%



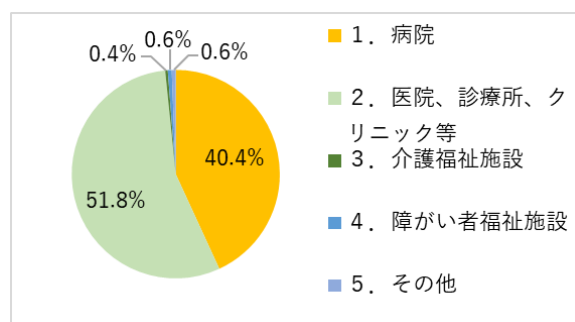
【移動手段】

選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩・自転車	480	45.8%
2. 自家用車・バイク	356	34.0%
3. 路線バス	72	6.9%
4. にいバス	6	0.6%
5. タクシー	9	0.9%
6. 施設の送迎車	11	1.0%
7. その他	74	7.1%
無回答	40	3.8%
合計	1,048	100.0%



【施設】

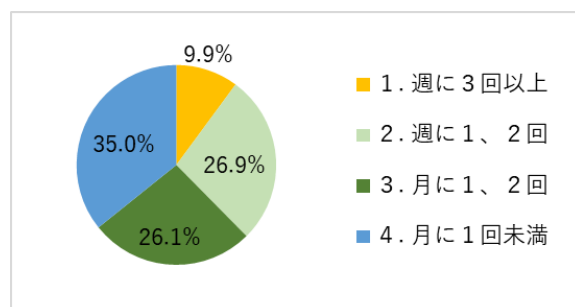
選択肢	回答数	構成比
1. 病院	423	40.4%
2. 医院、診療所、クリニック等	542	51.8%
3. 介護福祉施設	4	0.4%
4. 障がい者福祉施設	6	0.6%
5. その他	6	0.6%
無回答	66	6.3%
合計	1,047	100.0%



(7) 趣味、娯楽、スポーツ、文化活動、地域活動等

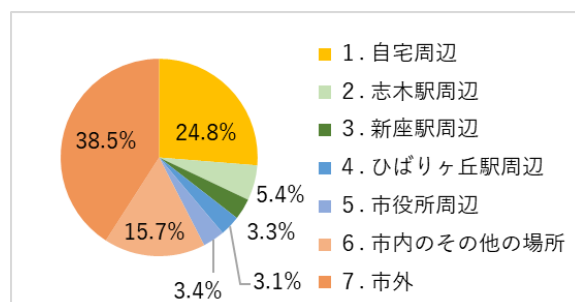
【頻度】

選択肢	回答数	構成比
1. 週に3回以上	82	9.9%
2. 週に1、2回	223	26.9%
3. 月に1、2回	216	26.1%
4. 月に1回未満	290	35.0%
無回答	17	2.1%
合計	828	100.0%



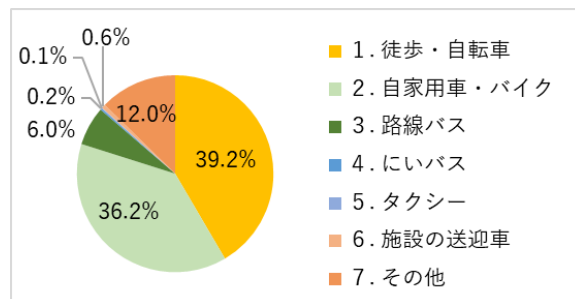
【場所】

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺	205	24.8%
2. 志木駅周辺	45	5.4%
3. 新座駅周辺	27	3.3%
4. ひばりヶ丘駅周辺	26	3.1%
5. 市役所周辺	28	3.4%
6. 市内のその他の場所	130	15.7%
7. 市外	319	38.5%
無回答	48	5.8%
合計	828	100.0%



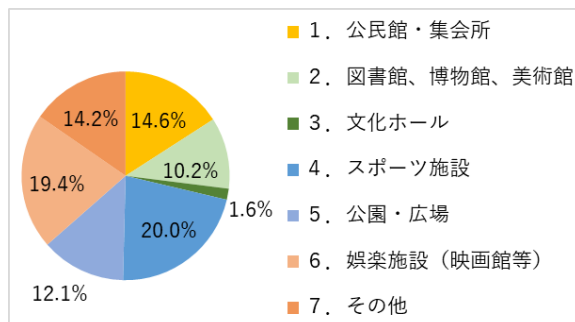
【移動手段】

選択肢	回答数	構成比
1. 徒歩・自転車	324	39.2%
2. 自家用車・バイク	299	36.2%
3. 路線バス	50	6.0%
4. にいバス	2	0.2%
5. タクシー	1	0.1%
6. 施設の送迎車	5	0.6%
7. その他	99	12.0%
無回答	47	5.7%
合計	827	100.0%



【施設】

選択肢	回答数	構成比
1. 公民館・集会所	121	14.6%
2. 図書館、博物館、美術館	84	10.2%
3. 文化ホール	13	1.6%
4. スポーツ施設	165	20.0%
5. 公園・広場	100	12.1%
6. 娯楽施設（映画館等）	160	19.4%
7. その他	117	14.2%
無回答	66	8.0%
合計	826	100.0%



2-4 施設について

問 10. ご自宅の周辺（概ね徒歩 10 分圏内）に、特に必要と思われる施設はどれですか。
既にお近くにあるものを含めてお答えください。（3 つまで○）

【全体の傾向】

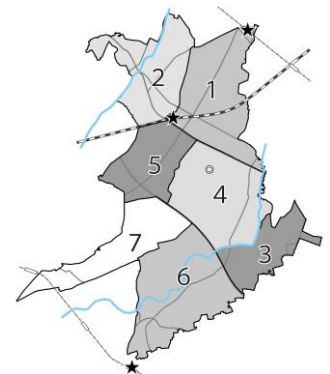
○自宅周辺に必要と思われる施設は、「食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）」が約 72%で最も高くなっており、突出した結果になっています。また、「医院、診療所、クリニック等」が約 33%、「コンビニエンスストア」が約 30%、「病院」が約 21%、「飲食店」が 16%と比較的高くなっていることから、身近な商業施設と医療施設の徒歩圏内の立地が求められています。

選択肢	回答数	構成比
1. 食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）	852	71.8%
2. 大型ショッピングセンター、百貨店	111	9.4%
3. コンビニエンスストア	351	29.6%
4. 家電、家具、趣味品等専門店	43	3.6%
5. 飲食店	195	16.4%
6. 病院	250	21.1%
7. 医院、診療所、クリニック等	397	33.4%
8. 高齢者福祉施設	34	2.9%
9. 障がい者福祉施設	8	0.7%
10. 市役所、出張所	100	8.4%
11. 幼稚園・保育園・こども園	52	4.4%
12. 放課後児童保育室、児童センター	23	1.9%
13. 公民館・集会所	33	2.8%
14. 図書館、博物館、美術館	91	7.7%
15. 文化ホール	7	0.6%
16. スポーツ施設	71	6.0%
17. 銀行、信用金庫	168	14.2%
18. 郵便局、J A（農協）	117	9.9%
19. 公園、広場	114	9.6%
20. 娯楽施設（映画館等）	44	3.7%
21. その他（ ）	19	1.6%
無回答	81	6.8%
合計	3,161	-

【地域別の傾向】

- 東部地域、中央地域、西部地域、南部地域、南西地域については、全体の傾向と同様に「食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）」「医院、診療所、クリニック等」「コンビニエンスストア」「病院」「飲食店」が上位5位を占めています。
- 北東地域では、全体の傾向に比べて、「大型ショッピングセンター、百貨店」が3.0ポイント、「スポーツ施設」が2.2ポイント、「公園、広場」が2.8ポイント高くなっています。その一方で、「飲食店」「市役所、出張所」「郵便局、JA（農協）」が低くなっています。これは、当該地域は全域市街化区域に指定されているため、駅周辺や幹線道路沿道に大規模な商業施設や行政施設、金融施設が立地しており、その施設への利便性が高いことが影響していると考えられます。
- 北西地域では、全体の傾向に比べて、「コンビニエンスストア」が4.3ポイント、「市役所、出張所」が3.1ポイント、「郵便局、JA（農協）」が4.3ポイント高くなっています。その一方で、「大型ショッピングセンター、百貨店」「飲食店」「病院」「図書館、博物館、美術館」「公園、広場」が低くなっています。

	回答数								回答率							
	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西
全体	1,187	342	148	94	122	79	276	123	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1. 食料品・生活用品等の店舗	852	246	108	59	89	57	200	93	71.8	71.9	73.0	62.8	73.0	72.2	72.5	75.6
2. 大型ショッピングセンター、百貨店	110	42	7	10	14	5	17	15	9.3	12.3	4.7	10.6	11.5	6.3	6.2	12.2
3. コンビニエンスストア	350	107	50	22	33	24	78	36	29.5	31.3	33.8	23.4	27.0	30.4	28.3	29.3
4. 家電、家具、趣味品等専門店	43	15	3	5	1	4	12	3	3.6	4.4	2.0	5.3	0.8	5.1	4.3	2.4
5. 飲食店	195	45	20	16	24	12	56	22	16.4	13.2	13.5	17.0	19.7	15.2	20.3	17.9
6. 病院	249	73	25	21	27	11	67	25	21.0	21.3	16.9	22.3	22.1	13.9	24.3	20.3
7. 医院、診療所、クリニック等	397	119	49	36	41	31	83	38	33.4	34.8	33.1	38.3	33.6	39.2	30.1	30.9
8. 高齢者福祉施設	34	14	2	5	0	4	4	5	2.9	4.1	1.4	5.3	0.0	5.1	1.4	4.1
9. 障がい者福祉施設	8	2	1	1	1	1	2	0	0.7	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	0.7	0.0
10. 市役所、出張所	100	20	17	8	12	7	24	12	8.4	5.8	11.5	8.5	9.8	8.9	8.7	9.8
11. 幼稚園・保育園・こども園	52	18	5	4	5	2	8	10	4.4	5.3	3.4	4.3	4.1	2.5	2.9	8.1
12. 放課後児童保育室、児童センター	23	8	1	1	2	2	7	2	1.9	2.3	0.7	1.1	1.6	2.5	2.5	1.6
13. 公民館・集会所	33	6	7	4	2	3	9	2	2.8	1.8	4.7	4.3	1.6	3.8	3.3	1.6
14. 図書館、博物館、美術館	91	30	8	8	6	8	21	10	7.7	8.8	5.4	8.5	4.9	10.1	7.6	8.1
15. 文化ホール	7	2	1	0	0	0	3	1	0.6	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	1.1	0.8
16. スポーツ施設	71	28	7	3	2	4	21	6	6.0	8.2	4.7	3.2	1.6	5.1	7.6	4.9
17. 銀行、信用金庫	168	46	18	8	19	10	48	19	14.2	13.5	12.2	8.5	15.6	12.7	17.4	15.4
18. 郵便局、ＪＡ（農協）	117	20	21	9	15	5	36	11	9.9	5.8	14.2	9.6	12.3	6.3	13.0	8.9
19. 公園、広場	113	42	11	5	12	11	23	9	9.5	12.3	7.4	5.3	9.8	13.9	8.3	7.3
20. 娯楽施設（映画館等）	44	13	3	3	7	4	8	6	3.7	3.8	2.0	3.2	5.7	5.1	2.9	4.9
21. その他	19	5	3	3	3	0	4	1	1.6	1.5	2.0	3.2	2.5	0.0	1.4	0.8
無回答	80	19	13	11	7	4	18	8	6.7	5.6	8.8	11.7	5.7	5.1	6.5	6.5

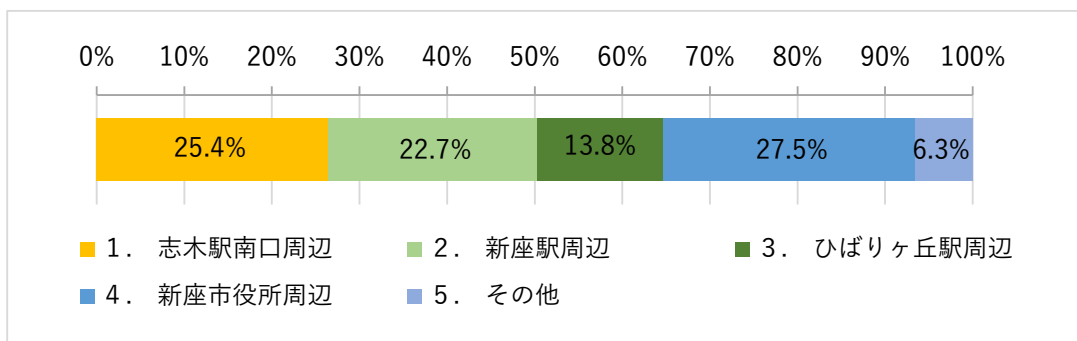


問 11. 新座市における都市計画の基本的な方針を定めた「新座市都市計画マスタープラン」では、志木駅南口周辺、新座駅周辺、ひばりヶ丘駅周辺、新座市役所周辺を、都市の機能が集積する「拠点」として位置付けていますが（同封リーフレットの裏面「主要施設分布及び拠点位置図」をご覧ください）、あなたが考える新座市の中心的な場所はどこですか。（1つだけ○）

【全体の傾向】

- 新座市の中心的な場所としては、「新座市役所周辺」が最も高く約 29%を占めていますが、続く「志木駅南口周辺」が 26%、「新座駅周辺」は 24%と、これらに大きな差は見られませんでした。
- 「新座市役所周辺」については、市域の中心に近い場所に位置していることや、市民の生活を支える重要な役割を担う機関であること、市民会館なども隣接していることなどが理由として考えられます。

選択肢	回答数	構成比
1. 志木駅南口周辺	301	25.4%
2. 新座駅周辺	270	22.7%
3. ひばりヶ丘駅周辺	164	13.8%
4. 新座市役所周辺	326	27.5%
5. その他（ ）	75	6.3%
無回答	51	4.3%
合計	1,187	100.0%



【地域別の傾向】

○全体の傾向に比べて、各地域に近い施設が新座市の中心的な場所として考えられている傾向が伺えます。

○「南部地域」については、当該地域の生活圏の影響で市外の鉄道駅である「ひばりヶ丘駅周辺」が高くなっています。

	回答数							
	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西
全体	1,187	342	148	94	122	79	276	123
1. 志木駅南口周辺	300	178	69	5	22	6	12	8
2. 新座駅周辺	270	106	48	14	14	53	20	15
3. ひばりヶ丘駅周辺	164	0	6	6	4	0	133	15
4. 新座市役所周辺	325	42	15	44	73	15	88	48
5. その他	75	3	5	19	4	1	13	30
無回答	50	13	5	6	5	4	10	7

	構成比 (%)							
	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1. 志木駅南口周辺	25.3	52.0	46.6	5.3	18.0	7.6	4.3	6.5
2. 新座駅周辺	22.7	31.0	32.4	14.9	11.5	67.1	7.2	12.2
3. ひばりヶ丘駅周辺	13.8	0.0	4.1	6.4	3.3	0.0	48.2	12.2
4. 新座市役所周辺	27.4	12.3	10.1	46.8	59.8	19.0	31.9	39.0
5. その他	6.3	0.9	3.4	20.2	3.3	1.3	4.7	24.4
無回答	4.2	3.8	3.4	6.4	4.1	5.1	3.6	5.7

問 12. 問 11 で答えた新座市の中心的な場所にあることが望ましい施設はどれですか。
既に立地しているものを含めてお答えください。(3つまで○)

【全体の傾向】

○本市の中心地に必要と思われる施設は、「大型ショッピングセンター、百貨店」が約 41%で最も高くなっており、次いで、「食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）」が約 35%、「病院」が約 27%となっていることから、中心地には広域的な役割を担う商業施設や医療施設の立地が求められています。

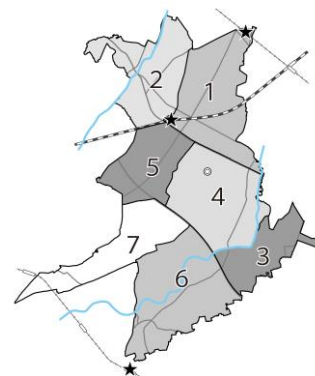
○「市役所、出張所」についても約 24%と比較的高くなっていることから、行政サービスを担う施設の立地も求められていると言えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）	417	35.1%
2. 大型ショッピングセンター、百貨店	483	40.7%
3. コンビニエンスストア	50	4.2%
4. 家電、家具、趣味品等専門店	81	6.8%
5. 飲食店	181	15.2%
6. 病院	319	26.9%
7. 医院、診療所、クリニック等	174	14.7%
8. 高齢者福祉施設	40	3.4%
9. 障がい者福祉施設	5	0.4%
10. 市役所、出張所	283	23.8%
11. 幼稚園・保育園・こども園	21	1.8%
12. 放課後児童保育室、児童センター	12	1.0%
13. 公民館・集会所	31	2.6%
14. 図書館、博物館、美術館	154	13.0%
15. 文化ホール	103	8.7%
16. スポーツ施設	63	5.3%
17. 銀行、信用金庫	213	17.9%
18. 郵便局、J A（農協）	72	6.1%
19. 公園、広場	107	9.0%
20. 娯楽施設（映画館等）	175	14.7%
21. その他（ ）	23	1.9%
無回答	78	6.6%
合計	3,085	-

【地域別の傾向】

- 北東地域、北西地域、南部地域、南西地域については、全体の傾向と同様に「大型ショッピングセンター、百貨店」「食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）」「病院」「市役所、出張所」が上位4位を占めています。
- 東部地域では、全体の傾向と比べて「食料品・生活用品等の店舗（スーパーマーケット、ドラッグストア等）」が約17%と18.1ポイント低くなっている一方で、「娯楽施設(映画館等)」が約20%と5.5ポイント高くなっています。
- 中央地域では、全体の傾向と比べて「市役所、出張所」が約20%と4.2ポイント低くなっている一方で、「銀行、信用金庫」が約21%と3.4ポイント高くなっています。
- 西部地域では、全体の傾向と比べて「市役所、出張所」が約20%と3.6ポイント低くなっている一方で、「飲食店」が約24%と8.8ポイント高くなっています。
- 本市の中心地に必要と思われる施設は、全体の傾向と同様に広域的な役割を担う商業施設や医療施設の立地が求められているとともに、地域によっては、金融施設や飲食・娯楽施設の立地が求められていることが伺えます。

	回答数								構成比							
	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西
全体	1,187	342	148	94	122	79	276	123	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1. 食料品・生活用品等の店舗	417	140	61	16	33	37	85	44	35.1	40.9	41.2	17.0	27.0	46.8	30.8	35.8
2. 大型ショッピングセンター、百貨店	483	156	56	45	49	26	106	44	40.7	45.6	37.8	47.9	40.2	32.9	38.4	35.8
3. コンビニエンスストア	50	15	12	3	5	3	6	6	4.2	4.4	8.1	3.2	4.1	3.8	2.2	4.9
4. 家電、家具、趣味品等専門店	81	20	10	8	4	4	35	0	6.8	5.8	6.8	8.5	3.3	5.1	12.7	0.0
5. 飲食店	181	53	24	5	21	19	40	19	15.2	15.5	16.2	5.3	17.2	24.1	14.5	15.4
6. 病院	319	77	29	37	29	20	92	34	26.9	22.5	19.6	39.4	23.8	25.3	33.3	27.6
7. 医院、診療所、クリニック等	174	59	28	11	18	13	34	11	14.7	17.3	18.9	11.7	14.8	16.5	12.3	8.9
8. 高齢者福祉施設	40	10	4	7	3	0	10	6	3.4	2.9	2.7	7.4	2.5	0.0	3.6	4.9
9. 障がい者福祉施設	5	1	1	1	0	1	1	0	0.4	0.3	0.7	1.1	0.0	1.3	0.4	0.0
10. 市役所、出張所	283	81	46	22	24	16	65	29	23.8	23.7	31.1	23.4	19.7	20.3	23.6	23.6
11. 幼稚園・保育園・こども園	21	7	3	0	4	1	3	3	1.8	2.0	2.0	0.0	3.3	1.3	1.1	2.4
12. 放課後児童保育室、児童センター	12	7	1	0	1	0	2	1	1.0	2.0	0.7	0.0	0.8	0.0	0.7	0.8
13. 公民館・集会所	31	5	3	3	4	5	7	4	2.6	1.5	2.0	3.2	3.3	6.3	2.5	3.3
14. 図書館、博物館、美術館	154	46	14	9	17	9	44	14	13.0	13.5	9.5	9.6	13.9	11.4	15.9	11.4
15. 文化ホール	103	21	9	6	10	8	32	17	8.7	6.1	6.1	6.4	8.2	10.1	11.6	13.8
16. スポーツ施設	63	21	6	3	3	4	20	6	5.3	6.1	4.1	3.2	2.5	5.1	7.2	4.9
17. 銀行、信用金庫	213	72	28	8	26	18	43	18	17.9	21.1	18.9	8.5	21.3	22.8	15.6	14.6
18. 郵便局、ＪＡ（農協）	72	15	11	4	10	5	20	7	6.1	4.4	7.4	4.3	8.2	6.3	7.2	5.7
19. 公園、広場	107	33	8	6	10	12	28	10	9.0	9.6	5.4	6.4	8.2	15.2	10.1	8.1
20. 娯楽施設（映画館等）	175	48	13	19	23	10	45	17	14.7	14.0	8.8	20.2	18.9	12.7	16.3	13.8
21. その他	23	5	2	1	3	3	6	3	1.9	1.5	1.4	1.1	2.5	3.8	2.2	2.4
無回答	78	17	14	9	8	4	14	11	6.6	5.0	9.5	9.6	6.6	5.1	5.1	8.9



2-5 コンパクトなまちづくりについて

問 13. 今後、新座市では少子高齢化や人口減少が進んでいくことが予測されており、その場合に以下のような問題が発生する恐れがあります。

このうち、あなたの生活に最も影響するものはどれですか。（3つまで○）

- 「様々なサービスを維持するための税負担が大きくなる」が最も高く約 58%を占めているほか、「医療や福祉に携わる従事者が減少し、サービスが受けにくくなる」が約 57%、「不採算により商業施設が撤退し、買い物が不便になる」が約 54%となっており、少子高齢化や人口減少に伴う医療サービスの低下が懸念されています。
- 「バスなどの運行本数が減少し、出かけにくくなる」も約 43%と比較的高くなっていることから、公共交通サービスを維持していくことも求められていると言えます。

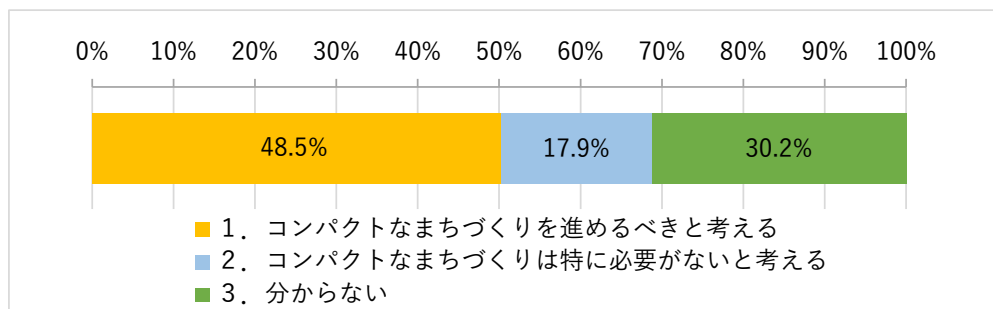
選択肢	回答数	構成比
1. バスなどの運行本数が減少し、出かけにくくなる	509	42.9%
2. 医療や福祉に携わる従事者が減少し、サービスが受けにくくなる	673	56.7%
3. 不採算により商業施設が撤退し、買い物が不便になる	635	53.5%
4. 公共施設の数が増え、利用しづらくなる	185	15.6%
5. 様々なサービスを維持するための税負担が大きくなる	693	58.4%
6. 空家や空地が増加し、居住環境が悪化する	210	17.7%
7. 農地や森林の管理が行き届かず荒廃する	116	9.8%
8. コミュニティ（町内会など地域の交流）が衰退する	106	8.9%
無回答	38	3.2%
合計	3,165	-

問 14. 立地適正化計画は、生活利便性が維持されるコンパクトなまちづくりを目指し、各拠点への施設の集約や、居住を推奨する区域を定めるものです。新座市がこの計画をつくるにあたって、あなたの考えに近いものはどれですか。（1つだけ○）

【全体の傾向】

- 立地適正化計画をつくるにあたっては、「コンパクトなまちづくりを進めるべきと考える」がおおむね過半を占めており、一程度の回答者の理解を得られていることが伺えます。
- 一方、「分からない」が約 30%、「コンパクトなまちづくりは特に必要がないと考える」が約 18%を占めることから、立地適正化計画について丁寧な説明や周知を進めていく必要があります。

選択肢	回答数	構成比
1. コンパクトなまちづくりを進めるべきと考える	576	48.5%
2. コンパクトなまちづくりは特に必要がないと考える	212	17.9%
3. 分からない	358	30.2%
無回答	41	3.5%
合計	1,187	100.0%



問 15. 問 14 で「2. コンパクトなまちづくりは特に必要がないと考える」と回答された方にお尋ねします。そのように考える理由について、あなたの考えに近いものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体の傾向】

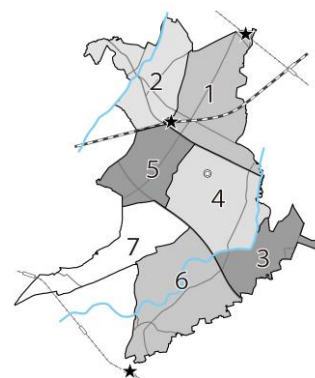
- コンパクトなまちづくりが必要ないと考える理由にあたっては、「施設が集約されると不便になりそうで不安」が約 34%で最も高くなっており、次いで「将来的に住む場所が限られそうで不安」が約 21%と、生活への影響に不安を感じている方が、約 55%と過半を超えています。
- 「現状のままで不便はない」が約 19%、「市街地を拡大し、新たな開発を積極的に進めた方がよい」が約 15%であり、市街地の維持・拡大を求める方は約 34%となっています。

選択肢	回答数	構成比
1. 将来的に住む場所が限られそうで不安	72	20.6%
2. 施設が集約されると不便になりそうで不安	121	34.6%
3. 市街地を拡大し、新たな開発を積極的に進めた方がよい	54	15.4%
4. 今後、他区市町村に移り住む予定なので影響がない	12	3.4%
5. 現状のままで不便はない	65	18.6%
6. その他 ()	25	7.1%
無回答	1	0.3%
合計	350	-

【地域別の傾向】

- 全体の傾向と同様に「施設が集約されると不便になりそう」が全ての地域で最も高い割合を占めていますが、最も高い北西地域 65.4%と最も低い西部地域 50.0%とのあいだでは約15%の差があります。
- 地域全域が市街化区域に指定され、志木駅南口周辺、新座駅周辺を有する北東地域では、「市街地を拡大し、新たな開発を積極的に進めた方がよい」「現状のままで不便はない」が上位3位以内となっており、市街地の維持・拡大を求める傾向にあります。
- 地域の一部が市街化調整区域に指定されている東部地域では、全体の傾向と比べて、「市街地を拡大し、新たな開発を積極的に進めた方がよい」が約45%と19.5ポイント高く、市街地の拡大を求める傾向にあります。
- 地域の一部が市街化調整区域に指定され、市役所を有する中央地域では、全体の傾向と比べて、「現状のままで不便はない」が約50%と19.8ポイント高く、市街地の維持を求める傾向にあります。

	回答数								構成比							
	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西	全体	1.北東	2.北西	3.東部	4.中央	5.西部	6.南部	7.南西
全体	212	47	26	20	24	12	47	34	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1. 将来的に住む場所 が限られそうで不安	71	11	14	5	9	6	17	9	33.5	23.4	53.8	25.0	37.5	50.0	36.2	26.5
2. 施設が集約される と不便になりそうで不安	119	25	17	12	15	6	26	18	56.1	53.2	65.4	60.0	62.5	50.0	55.3	52.9
3. 市街地を拡大し、 新たな開発を積極的に 進めた方がよい	54	13	3	9	8	4	10	7	25.5	27.7	11.5	45.0	33.3	33.3	21.3	20.6
4. 今後、他区市町村 に移り住む予定なので 影響がない	12	2	0	1	1	0	5	3	5.7	4.3	0.0	5.0	4.2	0.0	10.6	8.8
5. 現状のままで不便 はない	64	14	7	6	12	1	13	11	30.2	29.8	26.9	30.0	50.0	8.3	27.7	32.4
6. その他	25	4	3	1	2	2	8	5	11.8	8.5	11.5	5.0	8.3	16.7	17.0	14.7
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



問 16. 将来、立地適正化計画で居住を推奨する生活利便性の高い区域への住み替えを想定したときに、どのような支援や制度があると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○住み替えに対して求められる支援や制度については、「住宅購入やリフォームに対する費用の助成」が約 62%で最も高くなっており、次いで「土地の売買に伴う税制等の優遇措置」が約 47%、「住み替えに対する情報提供や相談窓口の設置」が約 42%となっていることから、新たな住宅を取得する際の金銭的な支援が主に求められていることが伺えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 住み替えに対する情報提供や相談窓口の設置	501	42.2%
2. 住宅購入やリフォームに対する費用の助成	740	62.3%
3. 賃貸住宅の入居費用の助成	367	30.9%
4. 引越し費用の助成	495	41.7%
5. 土地の売買に伴う税制等の優遇措置	562	47.3%
6. その他 ()	45	3.8%
無回答	102	8.6%
合計	2,812	-

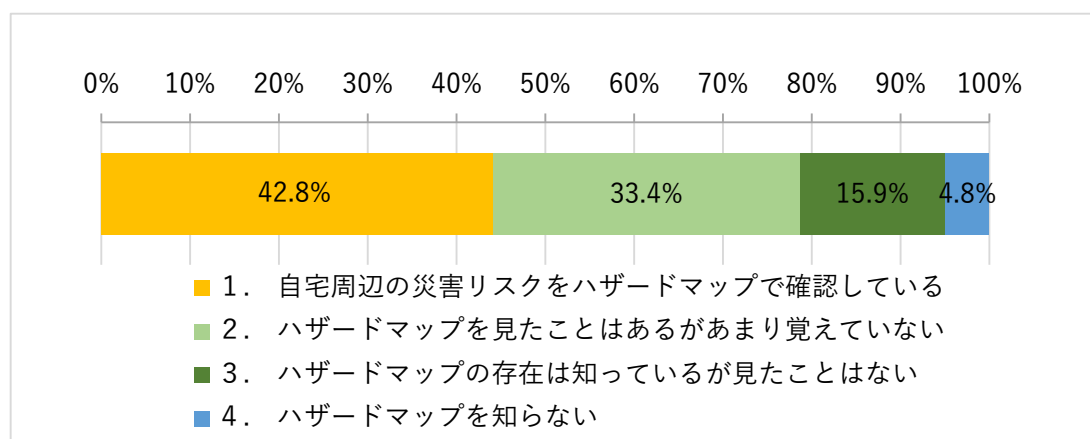
2-6 防災・減災について

問 17. 新座市の防災ハザードマップで、自宅周辺の災害リスクを確認したことはありますか。
(1つだけ○)

○本市の防災ハザードマップについては、「自宅周辺の災害リスクをハザードマップで確認している」が約 43%で最も高く、一定程度は防災ハザードマップを確認されていることが伺えます。

○その一方で、「ハザードマップを見たことはあるがあまり覚えていない」「ハザードマップの存在は知っているが見たことはない」「ハザードマップを知らない」を合わせると過半を超えるため、引き続き防災ハザードマップの周知を図るとともに、実際に自宅や職場等の周辺の災害リスクを把握していただくための対策を講じる必要があります。

選択肢	回答数	構成比
1. 自宅周辺の災害リスクをハザードマップで確認している	508	42.8%
2. ハザードマップを見たことはあるがあまり覚えていない	397	33.4%
3. ハザードマップの存在は知っているが見たことはない	189	15.9%
4. ハザードマップを知らない	57	4.8%
無回答	36	3.0%
合計	1,187	100.0%



問 18. ご家庭で行っている防災・減災対策はどのようなものがありますか。

(あてはまるものすべてに○。該当がない場合は無記入としてください)

○ご家庭で行っている防災・減災対策については、「非常用飲料水の備蓄」が約 68%で最も高く、次いで「非常用食品の備蓄・管理」が約 49%、「非常用持ち出し袋の準備」が約 37%と続き、防災グッズなどによるソフト対策が高くなっています。

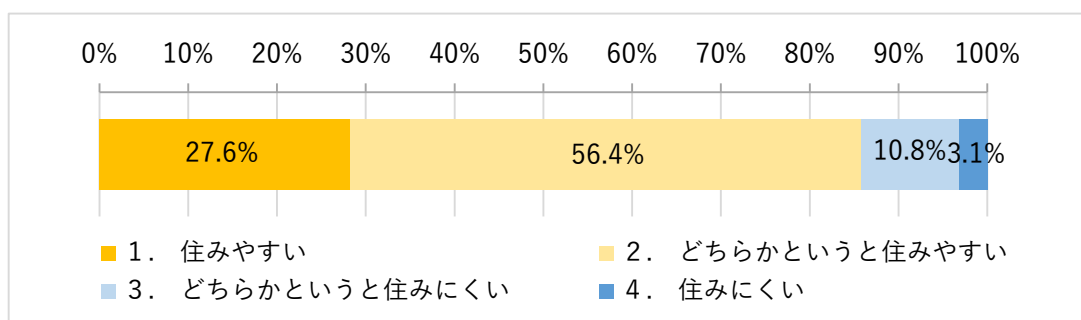
○一方で、「住宅の耐震化」「感震ブレーカーの設置」「火災に対する安全性の高い製品の使用」などのハード対策や「防災訓練の実施・参加」の参加型の対策については低調となっています。

選択肢	回答数	構成比
1. 非常用飲料水の備蓄	801	67.5%
2. 非常用食品の備蓄・管理	580	48.9%
3. 非常用持ち出し袋の準備	440	37.1%
4. 寝室に懐中電灯やスリッパ等を用意	416	35.0%
5. 家具などの転倒・落下防止策	418	35.2%
6. 避難場所及び経路の確認	332	28.0%
7. 家族間での連絡方法の確認	339	28.6%
8. 住宅の耐震化	193	16.3%
9. 防災情報メールやアプリへの登録	184	15.5%
10. 住宅用火災警報器の設置・活用	298	25.1%
11. 感震ブレーカーの設置	49	4.1%
12. 火災に対する安全性の高い製品の使用	78	6.6%
13. 消火器等の保有又は設置場所の確認	257	21.7%
14. 防災訓練の実施・参加	89	7.5%
15. その他 ()	12	1.0%
無回答	100	8.4%
合計	4,586	-

問 19. 総合的に考えて、新座市はあなたにとって住みよいまちですか。（1 つだけ○）

○本市については、「どちらかという住みやすい」が約 56%で最も高く、「住みやすい」と合わせると 84%であり、多くの方が新座市での住みやすさに肯定的な印象を持たれていることが伺えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 住みやすい	328	27.6%
2. どちらかという住みやすい	670	56.4%
3. どちらかという住みにくい	128	10.8%
4. 住みにくい	37	3.1%
無回答	24	2.0%
合計	1,187	100.0%

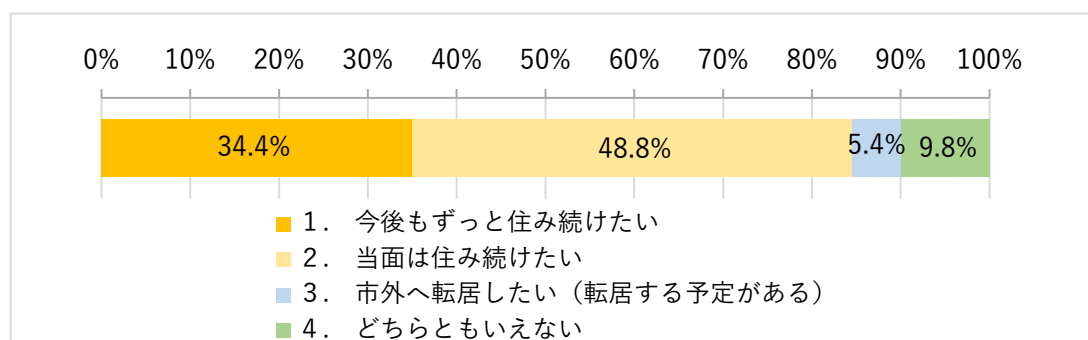


問 20. 今後も新座市に住みたいですか。（1 つだけ○）

○定住意向については、「当面は住みたい」が約 48%で最も高く、次いで「今後もずっと住みたい」が約 34%となっています。

○「当面は住みたい」「今後もずっと住みたい」を合わせると約 83%であり、一定程度の定住ポテンシャルを有していることが伺えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 今後もずっと住みたい	408	34.4%
2. 当面は住みたい	579	48.8%
3. 市外へ転居したい（転居する予定がある）	64	5.4%
4. どちらともいえない	116	9.8%
無回答	20	1.7%
合計	1,187	100.0%



問 21. 新座市内で、あなたが一番住みやすそうだと思う場所はどこですか。（1 つだけ○）

○市内で一番住みやすい場所については、「現在の場所が良い」が約 34%と最も高く、住み慣れた場所を選ばれています。

○次いで「志木駅南口周辺」が 23.0%と高く、「新座駅周辺」「ひばりヶ丘駅周辺」も合わせると約半数にのぼることから、公共交通の利便性がよい鉄道駅周辺を望む方も多いことが伺えます。

選択肢	回答数	構成比
1. 志木駅南口周辺	273	23.0%
2. 新座駅周辺	123	10.4%
3. ひばりヶ丘駅周辺	193	16.3%
4. 市役所周辺	34	2.9%
5. 市内のその他の場所（ ）	19	1.6%
6. 現在の場所が良い	402	33.9%
7. 特に無い	117	9.9%
無回答	26	2.2%
合計	1,187	100.0%

